

令和元年9月20日（金）
令和元年度 第2回
大阪府河川整備審議会

資料6

淀川水系 西大阪ブロック河川整備計画 (変更原案)について

新たな三大水門の検討

- 三大水門は、治水施設として府民を守る重要な施設だけでなく、国内でも珍しい形式であることもあり、大阪ミュージアムや大阪市の都市景観資源に登録されており、地域を象徴する施設でもある。



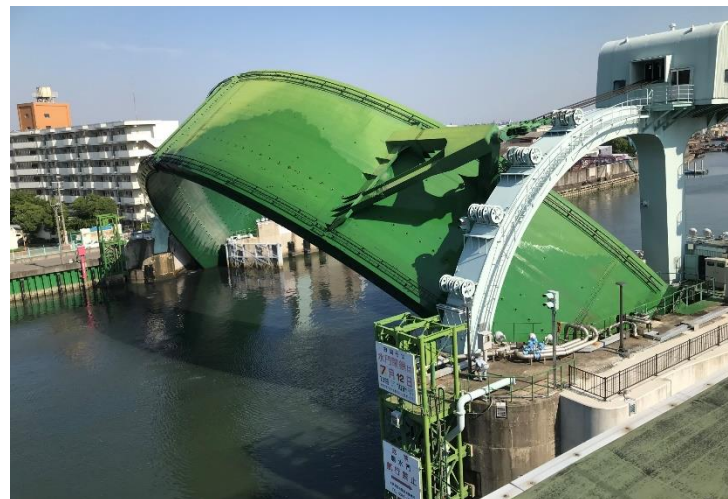
安治川水門(昭和45年3月完成)

表 主な水門諸元一覧

径間	主水門57.0m 副水門15.0m
扉体の大きさ	主水門 幅66.7m 高さ11.9m 副水門 幅17.1m 高さ11.55m
開放時中央部高さ	O.P.+29.72m
閉鎖時天端高	O.P.+7.4m
扉体閉鎖時間	主水門30分 副水門10分



尻無川水門(昭和45年11月完成)



木津川水門(昭和45年11月完成)

新たな三大水門の形式について

- 現水門とは異なり高潮対策だけでなく津波対策も兼ねるため津波に対する安全性や停電時などの緊急時にも速やかにゲートが閉鎖する機能を確保することが求められる。
- 経済性や津波・高潮水門としての実績などを指標に、総合的に最も優れる引上げ式構造ローラーゲートを採用する。

■ ゲート形式

1次選定

- ①引上げ式ローラーゲート②横転式ローラーゲート③スライドゲート
- ④起伏ゲート⑤フラップゲート⑥マイターゲート⑦セクタゲート
- ⑧バイザゲート⑨ライジングセクターゲート⑩円弧ローラーゲート
- ⑪海底設置形フラップゲート

評価項目

- ①押波・引波に対する安全性
- ②開閉の確実性
- ③非常時自重降下の可否
- ④点検・維持管理性
- ⑤適用事例

2次選定

- ①引上げ式ローラーゲート
- ②横点灯式ローラーゲート
- ③ライジングセクターゲート

評価項目

- ①構造特性
- ②維持管理性
- ③施工性
- ④景観特性
- ⑤経済性

決定案

- ①引上げ式ローラーゲート

引上げ式構造ローラーゲート



琴ノ浦水門（和歌山県）

横転式構造ローラーゲート



大林水門（岩手県）

ライジングセクターゲート



天神川水門（島根県）

事例

安治川水門の設置検討位置

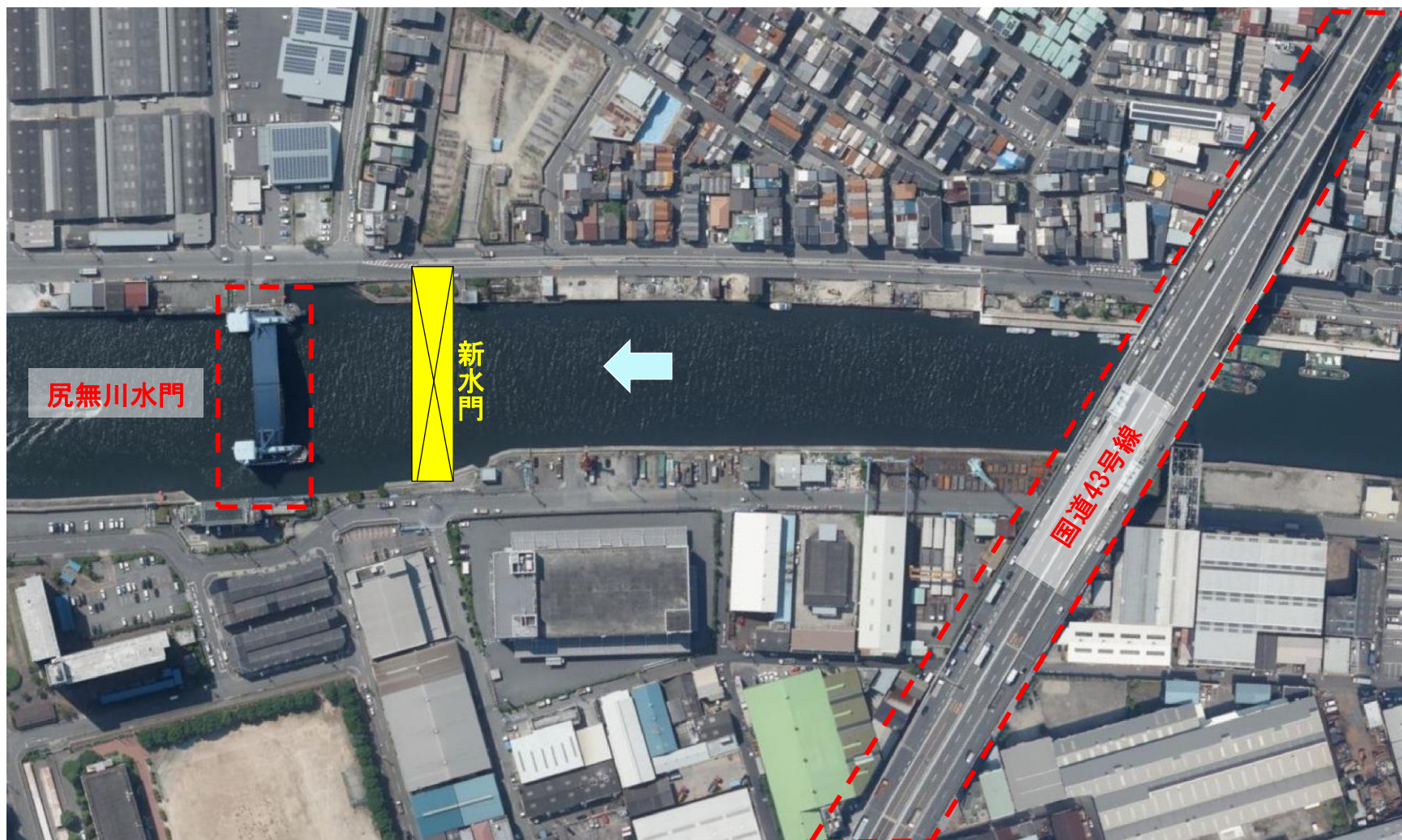
- 新水門は、施工性、経済性、周辺の土地環境を踏まえ、現水門の直上流とする。



※詳細な位置については、今後の詳細設計で変更する可能性があります。

尻無川水門の設置検討位置

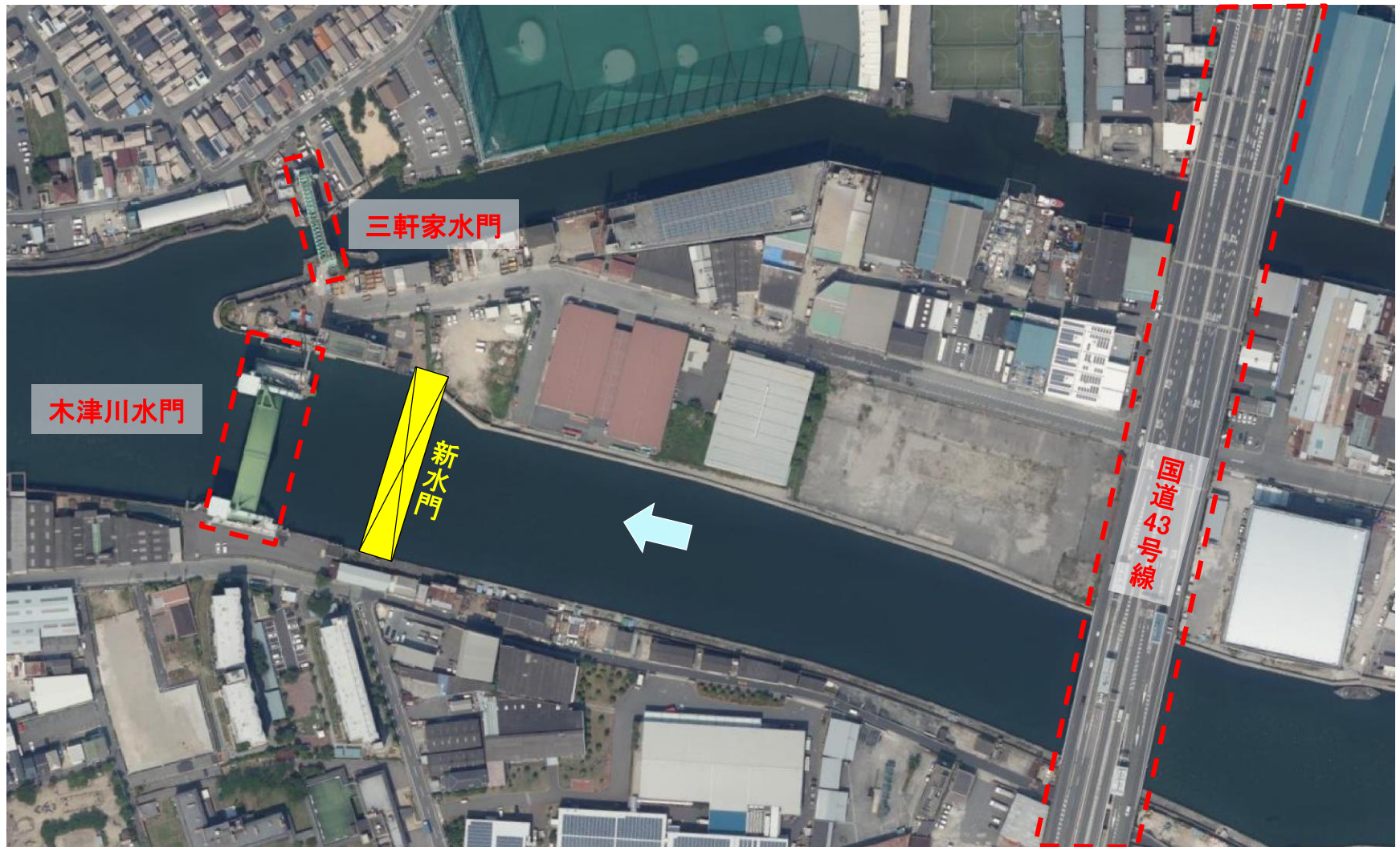
- 新水門は、施工性、経済性、周辺の土地環境を踏まえ、現水門の直上流とする。



※詳細な位置については、今後の詳細設計で変更する可能性があります。

木津川水門の設置検討位置

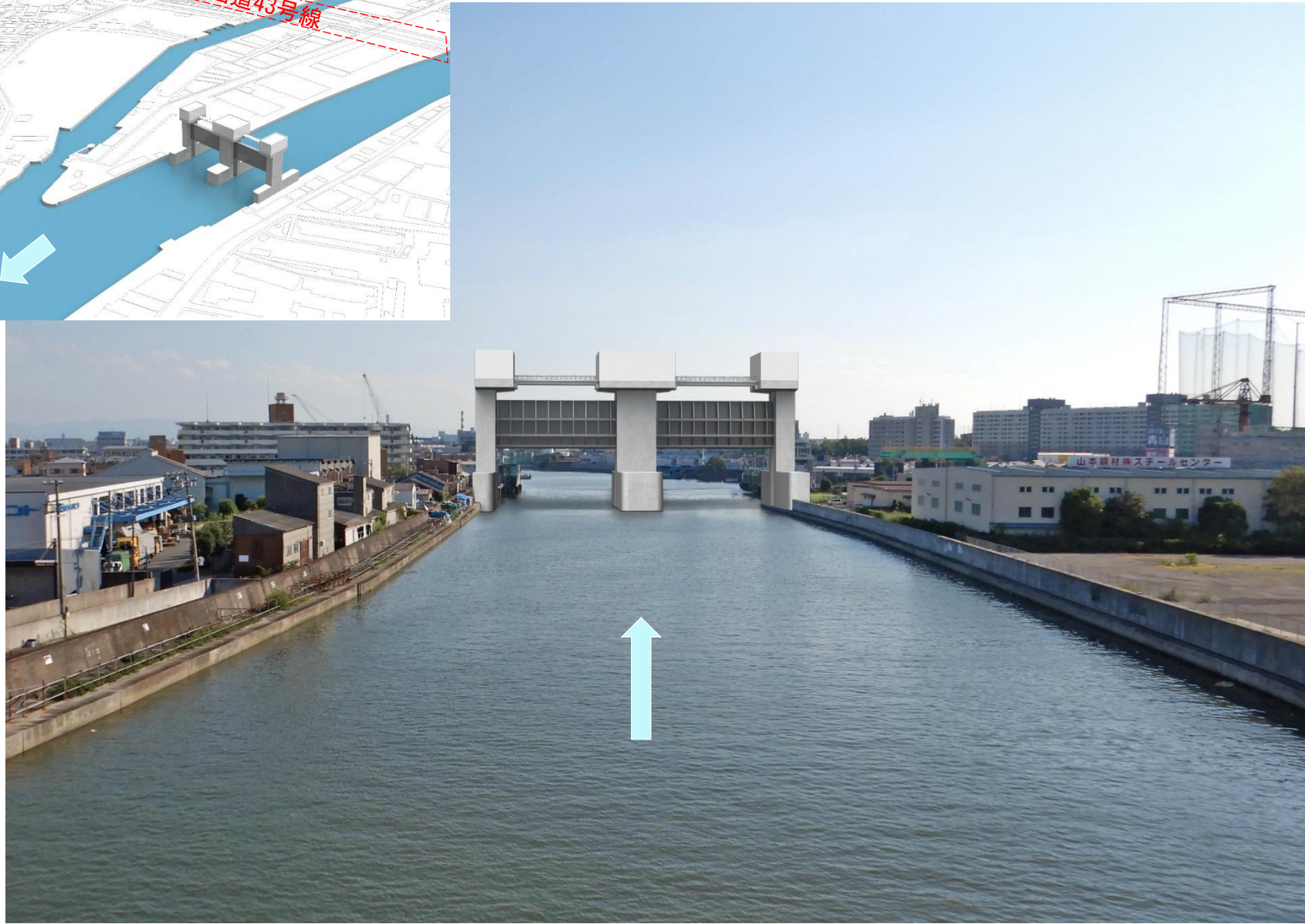
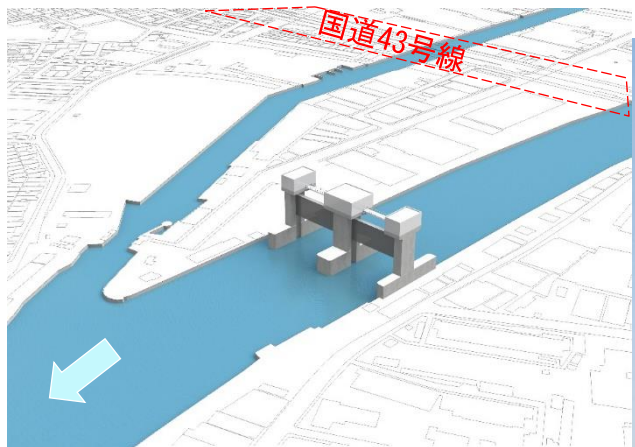
- 新水門は、施工性、経済性、周辺の土地環境を踏まえ、現水門の直上流とする。



※詳細な位置については、今後の詳細設計で変更する可能性があります。

新たな水門のイメージパース（木津川水門の例）

新水門上流側（国道43号線）からの展望



新たな水門の景観検討の方向性

- ・ 大阪市景観計画の届出(通知)対象外であるが、景観上非常に重要な構造物である。
- ・ 新水門は、地域のシンボルや舟運との連携を期待されている。

【新水門に関する関係機関への意見聴取】

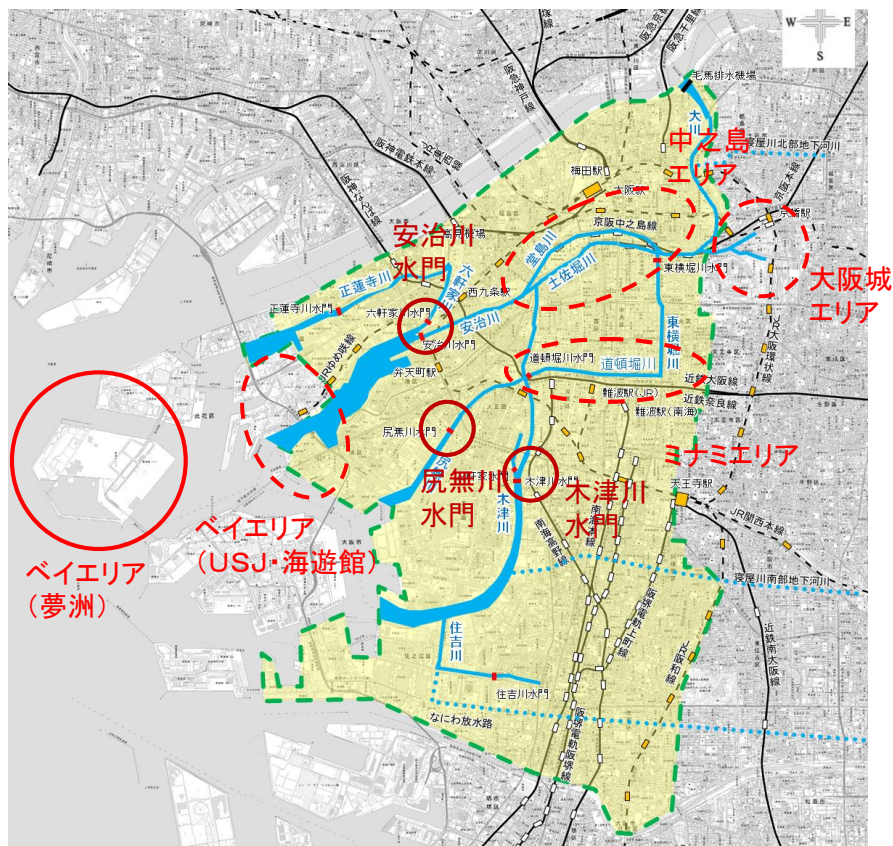
関係機関		主な意見
①	大阪市 都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> ●新水門は大阪市景観計画の届出(通知)対象外であるが、三大水門は景観上重要な構造物である。 ●大阪市ではベイエリアを視点場とした景観の整備に力を入れている。特に、<u>安治川はベイエリアと中之島を結ぶ東西軸として重要である。</u> ●<u>安治川水門と木津川水門は都市景観資源に登録されている。</u>都市景観資源は景観法に基づくものではなく、普及啓発用のリストであるため、撤去等について制限等があるわけではない。
②	大阪市港湾局 開発調整課	<ul style="list-style-type: none"> ●三大水門付近は<u>河川景観配慮ゾーン</u>であるため、水門の視点場としては河川内からの景観が重視される必要があると考える。
③	此花区役所 安治川水門	<ul style="list-style-type: none"> ●国道43号線から水門を目にする機会が多いこともあり、市の景観資源に登録されたのではないかと。そういう意味では、デザインや眺望について工夫すれば、区民に親しまれるのではないかと(例：舞洲清掃工場) ●舟運について、区でも注目している。川の家や売店のようなものを設置することを検討してはどうか。
④	港区役所 安治川・尻無川水門	<ul style="list-style-type: none"> ●安治川の弁天埠頭周辺(水門下流左岸)の活性化を考えており、連携できるかもしれない。 ●舟運について、将来的には今よりも大きな船舶が航行することも考えられる。 ●防災学習用や展望用のスペースを設置してもらえれば区としての活用を考えやすい。 ●水門に歩道の機能を付加することや舞洲清掃工場のような奇抜なデザインとすることもありうる。
⑤	大正区役所 尻無川・木津川水門	<ul style="list-style-type: none"> ●尻無川は大阪ドーム付近で特区を指定したこともあり、区としても重要な河川である。 ●尻無川の河口部で舟運を活用した賑わいの創出ができないかと考えており、尻無川水門は大正駅と河口部の中間地点にあるため、尻無川水門の更新事業と連携できれば面白い。 ●新水門付近で舟運の中継スポットとして、船の休憩所等の付加機能を追加するのはどうか。
⑥	西成区役所 木津川水門	<ul style="list-style-type: none"> ●インバウンドにより宿泊者は増えているが、区を観光する人は少ない。新水門が新名所になるようPRしたい。

【新水門景観検討の方向性】

さらなる発展が見込まれるベイエリアと大阪の中心市街地を結ぶ舟運の中間に位置することから、良好な河川景観を形成するよう配慮することはもとより、水都大阪の水辺空間などまちの賑わいのある河川景観の形成にも配慮する必要がある。

更なる舟運活性化と安全対策の検討

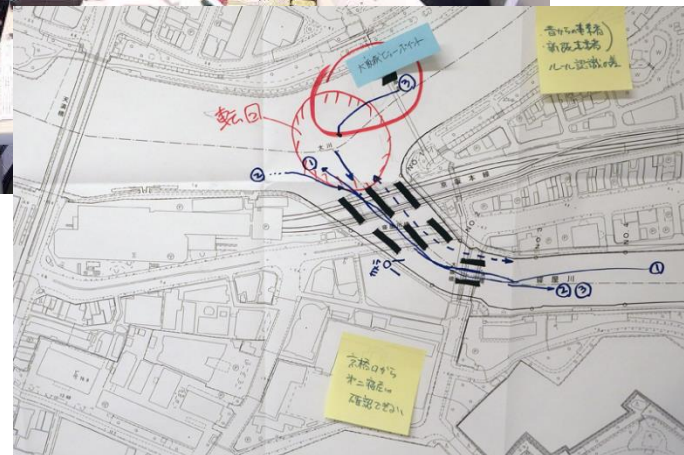
- 大阪のベイエリアは、2025年大阪・関西万博の開催決定や国際観光拠点形成に向けた夢洲地区の土地造成・基盤整備事業などの整備が計画されている。
- 水都大阪を象徴する舟運についても夢洲という新たな目的地による新航路の設定や船便の増強による利便性向上や、河川周辺エリアの新たな観光コンテンツの拡充等が考えられる。
- 一方、舟運活性化に伴う船舶の接触事故等のリスクの増加が想定されるため、水面利用者と行政が参画する「検討委員会」を発足し、実効性のある安全対策の検討を開始。



大阪市内中心部とベイエリア



検討委員会の様子



今回の変更の主なポイント

1. (本文)

津波・高潮対策として実施する三大水門改築に関する対策内容を追記

2. (本文)

地震・津波対策としての計画内容を現時点の内容に変更

3. (本文)

最新データを用いた時点修正。及び、工事等の進捗など現状に合わせた修正。

4. (本文)

誤描・誤字等の修正

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P3 16行目 2）気候 ）

修正方針	対応
③最新データを用いた時点修正。	最新データで気温・雨量データを修正。
----- 修正前	----- 修正後
流域に近接する大阪管区气象台堺観測所における過去10年間（平成16年から平成25年まで）の平均気温は約17.2℃と温暖で、年平均降水量は約1,340mmであり、降水量を月別で見ると、梅雨期の6月が約178.4mm、台風期の9月が約149.1mmと多くなっています。	流域に近接する大阪管区气象台 大阪 観測所における過去10年間（平成 21 年から平成 30 年まで）の平均気温は約17.1℃と温暖で、年平均降水量は約 1,459 mmであり、降水量を月別で見ると、梅雨期の6月が約 205.7 mm、台風期の9月が約 185.5 mmと多くなっています。

変更原案（P3 23行目 3）自然環境 ）

修正方針	対応
③最新データを用いた時点修正。	最新データで魚類生息データを修正。
----- 修正前	----- 修正後
動物は、平成23年度の「大阪市内河川魚類生息状況調査」では、12科25種（在来種11科22種、外来種2科3種（外来種のうち1科が在来種と重複））の魚類の生息が確認されています。対象河川では上流域にあたる大川、堂島川、土佐堀川、道頓堀川では、淡水魚であるコイ科の魚類が多く、安治川、木津川、尻無川など下流域の河川では、スズキ科、ボラ科、ハゼ科などの海水～汽水域に生息する魚類が多く確認されています。	動物は、平成 29 年度の「大阪市内河川魚類生息状況調査」では、 13 科 23 種（在来種 12 科 21 種、外来種 1 科 2 種）の魚類の生息が確認されています。対象河川では上流域にあたる大川 や水門で閉鎖されている 道頓堀川では、淡水魚であるコイ科の魚類が多く、安治川、 堂島川、土佐堀川 、木津川、尻無川など下流域の河川では、スズキ科、ボラ科、ハゼ科などの海水～汽水域に生息する魚類が多く確認されています。

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P3 33行目 1）人口）

修正方針	対応
③最新データを用いた時点修正。	最新データで人口データを修正。
修正前	修正後
<p>流域14区の人口動態（平成22年国勢調査結果）は、～中略～</p> <p>現在では、減少の傾向は緩やかになり、約125万人前後で推移しています。なお、市域中心部（北区、福島区、中央区、西区、天王寺区、浪速区）の人口は、増加傾向にあり、平成12年から平成22年までの10年間で約5%増加しています。</p>	<p>流域14区の人口動態（平成27年国勢調査結果）は、～中略～</p> <p>平成17年以降は、若干の増加傾向にあり、平成27年現在では約134万人となっています。なお、市域中心部（北区、福島区、中央区、西区、天王寺区、浪速区）の人口は、増加傾向にあり、平成17年から平成27年までの10年間で約26%増加しています。</p>

変更原案（P4 10行目 2）産業）

修正方針	対応
③最新データを用いた時点修正。	最新データで従業者数を修正。
修正前	修正後
<p>産業は、流域14区に従業者数、約163万人のうち、第3次産業従業者が80%以上を占め、そのうち「卸売・小売業、飲食業」の従業者数が全体の25%と大きな割合を占めており、商業中心の構成となっています。</p>	<p>産業は、流域14区に従業者数、約166万人のうち、第3次産業従業者が80%以上を占め、そのうち「卸売・小売業、飲食業」の従業者数が全体の25%と大きな割合を占めており、商業中心の構成となっています。</p>

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P5 29行目 5）交通）

修正方針	対応
③最新データを用いた時点修正。	最新情報に修正。
修正前	修正後
鉄道（JR、市営地下鉄、私鉄）	鉄道（JR、 大阪メトロ 、私鉄）

変更原案（P6 22行目（1）大川）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて一部修正。	現状に合わせて文章を修正。
修正前	修正後
近年の大阪アメニティーパークの建設に伴い、船着場と緩傾斜護岸、遊歩道等を一体的に整備した水辺の親水拠点があり、ここを起点として水上バスが運行しています。	大阪アメニティーパークの建設に伴い、船着場と緩傾斜護岸、遊歩道等を一体的に整備した水辺の親水拠点があり、水上バスが運行しています。

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P7 （1）大川 ）

修正方針

③文章を現状に合わせて修正。

修正前



図-1.2 桜宮公園の遊歩道

対応

現状の写真を追加。

修正後



図-1.2 毛馬桜之宮公園





図-1.3 大阪ふれあいの水辺

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P7 9行目 （2）堂島川、土佐堀川 ）



修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状に合わせて文章を修正。
修正前	修正後
また、近年になって大阪国際会議場や市立科学館、国立国際美術館が建設されている他、市立近代美術館などの文化・交流施設の整備が予定されています。	また、大阪国際会議場や市立科学館、国立国際美術館が建設されている他、 こども本の森や中之島美術館 などの文化・交流施設の整備が予定されています。

変更原案（P8 16行目 （3）安治川 ）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状に合わせて文章を追記。
修正前	修正後
これらの施設付近では、スーパー堤防（図-1.11参照）と船着場等による水辺拠点の環境整備が行われました。	これらの施設付近では、スーパー堤防と船着場等による水辺拠点の環境整備が行われました。 そのうち中央卸売市場前では、地元区が包括占有者となり、公募により選定された民間事業者による賑わい空間（図-1.11参照）が整備されています。
	
図-1.11 安治川スーパー堤防区間	図-1.11 安治川賑わい空間

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P9 7行目 （4）木津川 ）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状に合わせて文章を修正。
修正前	修正後
<p>また、平成21年度より、新たな都市魅力創造を目的とし、木津川の防潮堤の河川側にアート作品を描いたウォールペインティング（図-1.14参照）が行われています。</p>  <p>図-1.12 木津川（尻無川分派点上流）</p>	<p>平成29年度には、コンペ方式でデザインを募集し、地域との対話を重ねて整備された木津川遊歩空間（愛称「トコトコダンダン」）（図-1.13参照）が完成し、地域の憩いの場となっています。</p> <p>また、平成21年度より、新たな都市魅力創造を目的とし、木津川の防潮堤の河川側にアート作品を描いたウォールペインティング（図-1.14参照）が整備されています。</p>  <p>図-1.13 木津川遊歩空間（トコトコダンダン）</p>


今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P10 5行目 （5）尻無川 ）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状に合わせて文章を追記。
修正前	修正後
<p>これまでに、大阪ドームの開発に伴うスーパー堤防（図-1.15参照）が木津川と一体で整備されています。</p>  <p>図-1.16 尻無川水門上流（左岸）</p>	<p>これまでに、大阪ドームの開発に伴うスーパー堤防（図-1.15参照）が木津川と一体で整備されています。 また、その対岸では、地元区が包括占有者となり、公募により選定された民間事業者において賑わい空間（図-1.16参照）を整備しているところです。</p>  <p>図-1.16 尻無川賑わい空間整備箇所</p>



今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P 10 11行目 （6）住吉川 ）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて一部修正。	文章に合わせて写真を追加。
修正前	修正後
<p>水門より下流は高い防潮堤により堤内と水辺は遮られています。</p>	<p>水門より下流（図-1.17参照）は高い防潮堤により堤内と水辺は遮られています。</p>  <p data-bbox="1193 989 1676 1025">図-1.17 住吉川水門下流側</p>

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P 11 2 行目 （7）東横堀川 ）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状に合わせて文章を修正。
修正前	修正後
<p>沿川地区では都心型マンション開発が進んでいます。沿川にマイドームおおさか、大阪商工会議所などのビジネス拠点も集積しています。また、概ね全川にわたって沿川部が都市公園（図-1.19参照）として位置づけられており、特に本町橋から今橋までの区間は、市民の憩いの場となっています。</p> <p>河岸は、ほとんどが矢板護岸となっており、全川にわたり上空を阪神高速道路の高架橋が占用しています。水辺も公園整備区間以外は人の進入を拒む閉鎖的な空間となっています（図-1.20参照）。</p>  <p>図-1.19 都市公園</p>	<p>沿川地区では都心型マンション開発が進んでいるほか、マイドームおおさか、大阪商工会議所などのビジネス拠点も集積しています。また、概ね全川にわたって沿川部が都市計画公園として位置づけられており、特に本町橋から今橋までの区間は、市民の憩いの場となっています。なお、河岸は、ほとんどが矢板護岸の上、全川にわたり上空を阪神高速道路の高架橋が占用しており（図-1.19参照）、閉鎖的な空間となっています。</p>  <p>図-1.20 本町橋船着場</p>

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P 11 8 行目 （7）東横堀川 ）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状に合わせて文章を追記。
修正前	修正後
<p>平成12年に建設された東横堀川水門は、水位制御や高潮防潮、河川浄化などの役割を果たしています。</p>	<p>一方で、水位制御や高潮防御、河川浄化、閘門機能の役割を持つ東横堀川水門及びその周辺エリアが平成12年度に整備されています。さらに、本町橋付近では、平成27年度に船着場（図-1.20参照）が完成し、今後、周辺エリア全体における水辺の環境整備や水辺への民間活力の導入を進めるなど、水辺の賑わい空間創出を目指しています。</p>

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P11 17行目（8）道頓堀川）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状に合わせて文章を修正。
修正前	修正後
<p>道頓堀川は大阪都心南部に残された貴重な水辺空間であり、「水の都大阪再生」の基盤となるリーディングプロジェクトとして、「河川」を「まち」を構成する重要な空間として捉え、水を身近に感じられる空間となるよう、河川沿いの水面近くに船着場（湊町リバープレイス（図-1.21参照））や遊歩道（とんぼりリバーウォーク（図-1.22参照））を整備しました（港町～日本橋間L=1.0km）。</p> <p>現在は「水都大阪 水と光のまちづくり」を推進していくため、整備区間の利活用による賑わいの創出を図っており、民間事業者を遊歩道の管理運営主体とすることで、民間ノウハウを取り入れた賑わいの創出に取り組んでいます。</p>	<p>道頓堀川は大阪都心南部に残された貴重な水辺空間であり、「水の都大阪再生」の基盤となるリーディングプロジェクトとして、「河川」を「まち」を構成する重要な空間として捉え、水を身近に感じられる空間となるよう、河川沿いの水面近くに遊歩道（とんぼりリバーウォーク（図-1.21参照））及び船着場（湊町リバープレイス（図-1.22参照））や、最下流の木津川合流点付近に防潮機能や閘門機能等を持つ道頓堀川水門を整備しました。（湊町～日本橋間L=1.0km）。</p> <p>あわせて、道頓堀川水門から上大和橋までの河川区域やその区域に隣接する敷地は、道頓堀川景観形成地域に指定されています。</p> <p>また、遊歩道整備区間の利活用による賑わいの創出を図るため、河川敷地の利用の緩和を図る区域（都市・地域再生等利用区域）を指定し、民間事業者を遊歩道の管理運営主体とすることで、オープンカフェなど民間ノウハウを取り入れた賑わいの創出に取り組んでおり、「水と光のまちづくり」の推進につとめています。</p>

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P12 9行目 （8）道頓堀川 ）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状に合わせて文章を修正。
修正前	修正後
<p>最下流の木津川合流点付近に平成12年に完成した道頓堀川水門は、防潮機能や閘門機能等を持ち、水位制御や河川浄化などの役割を東横堀川水門と併せて果たしています。</p> <p>道頓堀川水門から上大和橋までの河川区域やその区域に隣接する敷地は、道頓堀川景観形成地域に指定されています。この地域においては、水辺整備による魅力ある水辺空間を創出するとともに、「水辺と一体感のあるまちなみ」の形成を図り、「川沿いの魅力」を高めることにより、うるおい、憩い、にぎわいのある水辺景観の形成を目標とし、河川整備を進めています。</p>	文章を削除。

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P12 15行目 （9）正蓮寺川 ）

修正方針	対応
④誤描・誤字の修正。	誤字の修正。
修正前	修正後
河川は地下ボックス化されています。今後、陸地化された河川敷地は、公園などとしての整備が予定されています。	河川は地下ボックス化されています。陸地化された河川敷地は、公園などとしての整備が 進められています 。

変更原案（P14 19行目 （1）治水事業の沿革 ）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状に合わせて文章を追記。
修正前	修正後
昭和40年代以降は、恒久的な高潮対策として、伊勢湾台風規模の超大型台風が、室戸台風の経路を通過して満潮時に来襲した場合を想定した高潮に対しても十分安全に対処できるように「大阪高潮対策恒久計画」を策定し、防潮堤、防潮水門、排水施設などの整備を進めてきました。	昭和40年代以降は、恒久的な高潮対策として、伊勢湾台風規模の超大型台風が、室戸台風の経路を通過して満潮時に来襲した場合を想定した高潮に対しても十分安全に対処できるように「大阪高潮対策恒久計画」を策定し、防潮堤、防潮水門、排水施設などの整備を進めてきました。 平成30年台風第21号では、大阪湾で観測史上最高潮位を記録しましたが、これまで整備を進めてきた高潮対策施設が適切に機能したことにより、大阪市域を高潮被害から守ることができました。

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P 15 （1）治水事業の沿革 ）

修正方針

④誤描・誤字の修正。

対応

誤描の修正。

修正前

表-1.1 主要水害

年 別 区 分	昭和 9 年 9 月 21 日	昭和 25 年 9 月 3 日	昭和 36 年 9 月 16 日
水 害 種 別	室戸台風 高潮	ジェーン台風 高潮	第二室戸台風 高潮
気 圧(mb)	954.4	970.3	937.3
時間最大雨量(mm)	—	19.8	—
総 雨 量(mm)	22.3	64.7	42.8
潮 位(OP+m)	4.20	3.85	4.12
浸 水 面 積(ha)	4,921	5,625	3,100
床上浸水家屋(戸)	府下 166,720	府下 45,406	59,198
床下浸水家屋(戸)	"	" 35,058	52,505
浸 水 家 屋(計)	" 166,720	" 80,464	126,980
死 傷 者(人)	" 17,898	" 21,465	2,165
備 考	府 下 全 体		

修正後

表-1.1 主要水害

年 別 区 分	昭和 9 年 9 月 21 日	昭和 25 年 9 月 3 日	昭和 36 年 9 月 16 日
水 害 種 別	室戸台風 高潮	ジェーン台風 高潮	第二室戸台風 高潮
気 圧(mb)	954.4	970.3	937.3
時間最大雨量(mm)	—	19.8	—
総 雨 量(mm)	22.3	64.7	42.8
潮 位(OP+m)	4.20	3.85	4.12
浸 水 面 積(ha)	4,921	5,625	3,100
床上浸水家屋(戸)	府下 166,720	府下 45,406	59,198
床下浸水家屋(戸)	"	" 35,058	67,782
浸 水 家 屋(計)	" 166,720	" 80,464	126,980
死 傷 者(人)	" 17,898	" 21,465	2,165
備 考	府 下 全 体		

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P15 （1）治水事業の沿革）

修正方針

対応

③最新データを用いた時点修正。

最新データを追記。

修正前

修正後

表-1.2 三大水門及び毛馬排水機場運転実績（高潮）

運転年月日	三大水門操作	毛馬排水機場運転	運転種別	特記事項
昭和50年8月22日	全水門閉鎖	—	—	台風6号
昭和54年9月30日	全水門閉鎖	運 転	高 潮	台風16号
昭和58年9月28日	—	運 転	高 潮	台風10号
平成元年9月19日	—	運 転	高 潮	台風22号
平成3年9月27日	—	運 転	高 潮	台風19号
平成6年9月29日	全水門閉鎖	運 転	高 潮	台風26号
平成8年8月14日	—	運 転	高 潮	台風12号
平成9年7月26日	全水門閉鎖	運 転	高 潮	台風9号
平成10年10月18日	—	運 転	高 潮	台風10号
平成11年9月15日	—	運 転	高 潮	台風16号
平成15年8月9日	全水門閉鎖	運 転	高 潮	台風10号
平成16年6月21日	—	運 転	高 潮	台風6号
平成16年7月31日	—	運 転	高 潮	台風10号
平成16年8月30日	全水門閉鎖	運 転	高 潮	台風16号
平成16年9月7日	全水門閉鎖	運 転	高 潮	台風18号
平成16年9月29日	—	運 転	高 潮	台風21号
平成16年10月20日	—	運 転	高 潮	台風23号
平成18年7月19日	—	運 転	洪 水	—
平成24年6月17日	—	運 転	洪 水	—
平成24年6月22日	—	運 転	洪 水	—
平成24年7月7日	—	運 転	洪 水	—
平成24年9月30日	—	運 転	高 潮	台風17号
平成25年8月25日	—	運 転	洪 水	—
平成25年9月16日	—	運 転	洪 水	—
平成25年10月9日	—	運 転	洪 水	—

表-1.2 三大水門及び毛馬排水機場運転実績

運転年月日	三大水門操作	毛馬排水機場運転	運転種別	特記事項
昭和50年8月22日	全水門閉鎖	—	—	台風6号
昭和54年9月30日	全水門閉鎖	運 転	高 潮	台風16号
昭和58年9月28日	—	運 転	高 潮	台風10号
平成元年9月19日	—	運 転	高 潮	台風22号
平成3年9月27日	—	運 転	高 潮	台風19号
平成6年9月29日	全水門閉鎖	運 転	高 潮	台風26号
平成8年8月14日	—	運 転	高 潮	台風12号
平成9年7月26日	全水門閉鎖	運 転	高 潮	台風9号
平成10年10月18日	—	運 転	高 潮	台風10号
平成11年9月15日	—	運 転	高 潮	台風16号
平成15年8月9日	全水門閉鎖	運 転	高 潮	台風10号
平成16年6月21日	—	運 転	高 潮	台風6号
平成16年7月31日	—	運 転	高 潮	台風10号
平成16年8月30日	全水門閉鎖	運 転	高 潮	台風16号
平成16年9月7日	全水門閉鎖	運 転	高 潮	台風18号
平成16年9月29日	—	運 転	高 潮	台風21号
平成16年10月20日	—	運 転	高 潮	台風23号
平成18年7月19日	—	運 転	洪 水	—
平成24年6月17日	—	運 転	洪 水	—
平成24年6月22日	—	運 転	洪 水	—
平成24年7月7日	—	運 転	洪 水	—
平成24年9月30日	—	運 転	高 潮	台風17号
平成25年8月25日	—	運 転	洪 水	—
平成25年9月16日	—	運 転	洪 水	—
平成25年10月9日	—	運 転	洪 水	—
平成26年8月10日	—	運 転	洪 水	—
平成26年10月13日	—	運 転	高 潮	台風19号
平成27年7月17日	—	運 転	高 潮	台風11号
平成28年8月29日	—	運 転	洪 水	—
平成29年9月17日	全水門閉鎖	運 転	高 潮	台風18号
平成29年10月22日	—	運 転	洪 水	—
平成30年7月6日	—	運 転	洪 水	—
平成30年7月29日	—	運 転	洪 水	—
平成30年8月23日	全水門閉鎖	運 転	高 潮	台風20号
平成30年9月4日	全水門閉鎖	運 転	高 潮	台風21号
平成30年9月30日	全水門閉鎖	運 転	高 潮	台風24号
令和元年8月15日	—	運 転	洪 水	台風10号

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P18 22行目 （2）現在の高潮・耐震・津波・洪水対策 ）

修正方針	対応
②地震・津波対策としての計画内容を変更	事業の進捗に合わせて修正。
----- 修正前	----- 修正後
<p>この委員会の提言を受けて、今後10年間程度で、地震対策を優先的に実施する区間を定めた「大阪府土木部地震防災アクションプログラム」（平成10年3月）を策定し、現在は平成21年3月に改訂されたアクションプログラムに基づき対策を実施しています。</p> <p style="text-align: center;">～中略～</p> <p>対策の重点化や整備の優先順位について審議し、10年間で対策を完了させる事業計画を策定しました。これに基づき、液状化により満潮時に地震直後から浸水が始まる区域については最優先で対策工事に取組んでいます。</p>	<p>この委員会の提言を受けて、10年間程度で地震対策を優先的に実施する区間を定めた「大阪府土木部地震防災アクションプログラム」（平成10年3月）を策定し対策を進め、平成21年3月には同プログラムの改訂を行い、対策を実施してきました。</p> <p style="text-align: center;">～中略～</p> <p>対策の重点化や整備の優先順位について審議を重ね、平成27年3月に、平成27年度を初年度として10年間で対策を完了させる事業計画としたアクションプログラムを策定し、対策を進めてきました。さらに平成31年4月には、三大水門の改築を位置づけるなど一部修正を行っており、これに基づき対策を進めます。</p>

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P19 3行目 （2）現在の高潮・耐震・津波・洪水対策 ）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状に合わせて文章を修正。
修正前	修正後
<p>南海トラフ巨大地震発生時の津波浸水想定を公表したところであり、一層の被害軽減対策が必要です。 ～中略～</p> <p>津波シミュレーション結果（当ブロックの最大津波高さ：O.P.+5.0m（朔望平均満潮位）O.P.+2.1m+津波高さ2.9m）示されましたが、</p>	<p>南海トラフ巨大地震発生時の津波浸水想定を公表し ており、一層の被害軽減対策が必要です。 ～中略～</p> <p>津波シミュレーション結果（当ブロックの最大津波高さ：O.P.+5.0m（朔望平均満潮位）O.P.+2.1m+津波高さ2.9m）が示され、</p>

変更原案（P19 17行目 （2）現在の高潮・耐震・津波・洪水対策 ）

修正方針	対応
②地震・津波対策としての計画内容を変更	事業の進捗に合わせて修正。
修正前	修正後
<p>東日本大震災を踏まえ、住民の避難時間を確保すべきとの教訓から、津波時に大水門を閉鎖することについて、平成23年度にマニュアルの改定を行っています。また、津波発生時の迅速な施設操作を目的とした大水門を含む管理水門7基の遠隔操作化及び管理鉄扉28基の電動化は完了しております。</p>	<p>東日本大震災を踏まえ、住民の避難時間を確保すべきとの教訓から、津波時に大水門を閉鎖することとしました。さらに、平成26年度には、南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会による津波シミュレーション結果に基づきマニュアルを改定しています。</p> <p>また、津波発生時の迅速な施設操作を目的とした大水門を含む管理水門7基の遠隔操作化・伝送路の二重化及び管理鉄扉28基の電動化は完了しております。</p>

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P 22 9行目 （3）高潮・地震・津波・洪水対策等の課題 ）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状の年季状況を反映。
修正前	修正後
同時生起する台風の発生の可能性も含めて、今後、調査・検討を進めていく必要があります。	同時生起する台風の発生の可能性や地球温暖化の進行による気候変動に伴う洪水・高潮のリスク増大について、今後、調査・検討を進めていく必要があります。

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P22 17行目 （3）高潮・地震・津波・洪水対策等の課題 ）

修正方針	対応
②地震・津波対策としての計画内容を変更	最新データで耐震補強距離を修正。
修正前	修正後
防潮堤では約22.5kmの耐震補強を、水門では7基（安治川水門、木津川水門、尻無川水門、正蓮寺川水門、住吉川水門、道頓堀川水門、東横堀川水門）の耐震補強を、それぞれ着実に推進していく必要があります。	防潮堤では約11.8kmの耐震補強を着実に推進していく必要があります。

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P 22 26行目 (3) 高潮・地震・津波・洪水対策等の課題 ）

修正方針	対応
①三大水門新設に関する対策内容を追記	三大水門の改築を記載。
修正前	修正後
<p>津波時に大水門を閉めると、L1（レベル1）津波による波力でも損傷し、水門を開放できなくなる恐れがあり、内水排除に支障をきたす可能性があることから、当面の対策として洪水流下に対する機能を確保する必要があります。</p> <p>また、津波の規模によっては水門閉鎖後に水門下流域への反射波の影響も懸念されることから、どの程度影響があるか等について検討を行う必要があります。加えて、抜本的な津波対策として、三大水門の津波対応化のための補強や、新たな津波防御施設についても検討を行う必要があります。</p>	<p>津波時に大水門を閉鎖すると、L1（レベル1）津波による波力でも損傷し、水門を開放できなくなる恐れがあり、内水排除に支障をきたす可能性があることから、当面の対策として副水門の開閉機能を確保するため副水門や中央堰柱の補強を行い、洪水流下に対する機能を確保しました。</p> <p>抜本的な対策としては、老朽化が進んでいる大水門（安治川水門・尻無川水門・木津川水門）を高潮への対策に加え、南海トラフ巨大地震による津波にも対応できる水門として改築を行う必要があります。</p>

変更原案（P 24 6行目 ①河川空間の利活用 ）

修正方針	対応
③最新データを用いた時点修正。	事業の進捗に合わせて修正。
修正前	修正後
西大阪ブロックにおいては、平成26年5月時点で9団体による活動が行われています。	西大阪ブロックにおいては、令和元年5月時点で12団体による活動が行われています。

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P 24 14行目 ①河川空間の利活用 ）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状に合わせて文章を修正。
修正前	修正後
<p>水上バスなどの遊覧船、プレジャーボートなどの船舶が航行しています。さらに近年では、「ほたるまち港（堂島川）」や「八軒家浜船着場（大川）」など、舟運の活性化を図るために船着場の整備（11ヶ所）を進めてきました。</p>	<p>水上バスや小型船によるクルーズが航行しています（図-1.31）。舟運利用者は平成29年度に約120万人となり、平成25年度の約50万人から大幅に増加しています。今後、増加するインバウンドや2025年に決まった大阪・関西万博などを見据え、ますますの舟運活性化が予想されます。</p> <div data-bbox="1193 634 1688 999" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1263 1011 1638 1048">図-1.31 舟運の状況</p> <p data-bbox="1375 1090 1526 1125">～中略～</p> <p>大川に整備された「大阪ふれあいの水辺」では、都心部で河川に直接触れられる貴重なオアシスとして人々に親しまれ、憩いの場となっています（図-1.32）。</p>

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P 25 7行目 ①河川空間の利活用 ）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	事業の進捗に合わせて修正。
修正前	修正後
<p>堂島川ではレストランや画廊などを核とした水辺のにぎわい空間「中之島バンクス」が、道頓堀川ではイベント広場やオープンカフェとして利用できる「とんぼりリバーウォーク」が整備されています。</p> <p>さらに、平成23年4月の河川敷占用許可準則の緩和に伴い、地域が要望し行政が手続きを行ったエリアにおいて、民間事業者が占用者となって河川区域内で事業計画を立案、施設整備することが可能になり、堂島川では、レストラン、ウエディングスペースなどの複合施設を核とした水辺のにぎわい空間「西天満若松浜」が整備されました。</p>	<p>堂島川ではレストランや画廊などを核とした水辺の賑わい空間「中之島バンクス」が、道頓堀川ではイベント広場やオープンカフェとして利用できる「とんぼりリバーウォーク」が整備されています（図-1.33）。</p> <p>さらに、平成23年4月の河川敷占用許可準則の緩和に伴い、地域が要望し行政が手続きを行ったエリアにおいて、民間事業者が占用者となって河川区域内で事業計画を立案、施設整備することが可能になり、堂島川では、レストラン、ウエディングスペースなどの複合施設を核とした水辺の賑わい空間「西天満若松浜」が、安治川では、水上レストラン等による「おおさかふくしま海の駅」が整備されました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="962 892 1352 1178" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1468 892 1864 1178" data-label="Image"> </div> </div>
	<p>図-1.32 大阪ふれあいの水辺</p>
	<p>図-1.33 中之島バンクス</p>

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P26 4行目 ③水質 ）

修正方針	対応
③最新データを用いた時点修正。	最新データで情報を修正。
修正前	修正後
<p>平成25年度の水質調査結果では、対象の河川においては全地点で環境基準を達成しています。</p> <p>ダイオキシン類については、平成25年度の調査結果では、道頓堀川で年間平均値が1.1pg-TEQ/Lと環境基準（1pg-TEQ/L以下）をわずかに超えていますが、流域における環境基準の達成状況は改善傾向にあります。</p> <p>また、東横堀川・道頓堀川では、干満に応じて両河川の水門を制御することにより、水質の良好な大川（おおかわ）の流水を導水する浄化運転を行っています。</p> <p>さらに、堂島川、土佐堀川、東横堀川、道頓堀川などでは、清掃船などによる水面清掃を行っています。</p> <p>本流域の上流にある寝屋川流域では、平成33年度までに下流域の目標水質をBOD非かんがい期（10月～5月）の平均値5mg/L以下（環境基準値C類型相当）とする水質改善目標を立て、河川や下水道事業、住民などで取組む対策をとりまとめた「寝屋川流域水環境改善計画H24.5」を策定し、流域での一体的な取り組みを進めています。</p>	<p>平成29年度の水質調査結果では、対象の河川においては全地点で環境基準を達成しています。</p> <p>ダイオキシン類については、平成25年度の調査結果では、道頓堀川で年間平均値が1.1pg-TEQ/Lと環境基準（1pg-TEQ/L以下）をわずかに超えていましたが、平成29年度の調査結果では、環境基準を下回っており、流域における環境基準の達成状況は改善傾向にあります。</p> <p>また、東横堀川・道頓堀川では、干満に応じて両河川の水門を制御することにより、水質の良好な大川（おおかわ）の流水を導水する浄化運転を行っています。</p> <p>さらに、堂島川、土佐堀川、東横堀川、道頓堀川などでは、清掃船などによる水面清掃を行っています。</p> <p>本流域の上流にある寝屋川流域では、令和3年度までに下流域の目標水質をBOD非かんがい期（10月～5月）の平均値5mg/L以下（環境基準値C類型相当）とする水質改善目標を立て、河川や下水道事業、住民などで取組む対策をとりまとめた「寝屋川流域水環境改善計画H24.5」を策定し、流域での一体的な取り組みを進めています。</p>

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P26 21行目 ④底質 ）

修正方針	対応
③最新データを用いた時点修正。	最新データで情報を修正。
修正前	修正後
流域における環境基準の達成状況は改善傾向にあります。	平成29年度の調査結果では、環境基準値を下回っており、流域における環境基準の達成状況は改善傾向にあります。

変更原案（P27 13行目 ①河川空間の利活用 ）

修正方針	対応
③最新データを用いた時点修正。	現状に合わせて文章を追記。
修正前	修正後
	また、河川水上交通の安全に対して船舶の航行ルールを定めていますが、今後の大阪・関西万博の開催等を見据えて、より航行安全の確保に取り組む必要があります。

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P28 ⑤自然環境 ）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状に合わせて文章を修正。
修正前	修正後
大川の「大阪ふれあいの水辺」周辺では、貯木場跡地の自然再生への取り組みを進めるにあたって、重要種の保全と外来種の駆除などの配慮が必要です。	文章を削除。

変更原案（P28 10行目 3. 気候変動に対する対象と課題 ）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状に合わせて文章を修正。
修正前	修正後
	<p>3. 気候変動に対する現状と課題</p> <p>近年、我が国においては、時間雨量50mmを超えるような局地的な集中豪雨や総雨量が数百ミリから千ミリを超えるような大雨が発生し、全国各地で毎年のように甚大な水害が発生しています。</p> <p>地球温暖化に伴う気候変動の影響により、今後さらに、施設の能力を大幅に上回る外力（災害の原因となる豪雨、洪水、高潮等の自然現象）により水災害が発生する懸念が高まっており、様々な事象を想定し対策を進めていくことが必要となっています。</p>

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P29 24行目 第3節 流域の将来像 ）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状に合わせて文章を修正。
修正前	修正後
また、『大阪都市魅力創造戦略』（平成24年6月）では、「水と光の首都大阪の実現」を具体的な取り組みとして掲げられています。	また、『大阪都市魅力創造戦略2020』（平成28年11月）では、「水と光の首都大阪の実現」を具体的な取り組みとして掲げられています。今後、増加するインバウンドや2025年に開催が決定した大阪・関西万博などにより、舟運は水都大阪からベイエリアや淀川へ広がることが予想されます。

変更原案（P30 6行目 （1）高潮対策 ）

修正方針	対応
②地震・津波対策としての計画内容を変更	三大水門の改築について追記。
修正前	修正後
引き続き現状を維持します。	引き続き現状を維持するとともに、近年の気候変動による台風の強大化や、計画規模を上回る洪水が発生することも十分考えられることから、最新の知見も踏まえた検討を進めます。

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P32 12行目 （1）河川空間の利活用 ）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状に合わせて文章を修正。
修正前	修正後
	(6)三大水門の改築 老朽化が進んでいる三大水門（安治川水門・尻無川水門・木津川水門）を高潮への対策に加え、南海トラフ巨大地震等による津波にも対応できる新たな水門として改築します。

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P33 1行目 （1）河川空間の利活用 ）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状に合わせて文章を修正。
修正前	修正後
<p>橋梁や護岸等のライトアップによる夜間景観の創造を目指します。</p> <p>そして水都の魅力を高めるハード整備と、水上交通ネットワークの強化など水辺の利用を促進するソフト事業を効果的に展開することにより、水辺の活力を都市の活力や魅力につなげ、地域住民や関係機関と共同し、まちと水辺が一体となった河川空間の創造をめざします。</p>	<p>橋梁や護岸等のライトアップによる夜間景観の創造と維持を目指します。</p> <p>そして水都の魅力を高めるハード整備と、安全に裏付けされた舟運の活性化や、水辺の利用を促進するソフト事業を効果的に展開することにより、水辺の活力を都市の活力や魅力につなげ、地域住民や関係機関と共同し、まちと水辺が一体となった河川空間の創造をめざします。</p>

変更原案（P33 25行目 （2）自然環境 ）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状に合わせて文章を修正。
修正前	修正後
<p>大川の「大阪ふれあいの水辺」における貯木場跡地など、ブロック内において、自然環境を有する空間では、それらの持つ自然環境の保全・再生に努め、</p>	<p>ブロック内において、自然環境を有する空間では、それらの持つ自然環境の保全・再生に努め、</p>

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P35 7行目 1.地震・津波対策）

修正方針	対応
②地震・津波対策としての計画内容を変更	事業の進捗に合わせて修正。
修正前	修正後
<p>また、防潮堤については、L2(レベル2)地震動による堤防の沈下等を考慮した場合でも、日常の満潮位で浸水しない、かつ、L1(レベル1)津波で浸水しない性能を確保するものとし、水門等については、L2(レベル2)地震動による地震後においても、水門等としての機能を保持する性能を確保するものとし、</p> <p>旧淀川（安治川）、木津川、尻無川、正蓮寺川、六軒家川、東横堀川、道頓堀川、住吉川では、表-2.1、図-2.1に示す整備対象区間において、防潮堤・水門・排水機場等の耐震補強を実施します。</p>	<p>また、内陸直下型及び海溝型のL2（レベル2）地震動に対しては、防潮堤については、堤防の沈下等を考慮した場合でも、日常の満潮位で浸水しない、またはL1(レベル1)津波で浸水しない性能を確保するものとし、水門等については、地震後においても、水門等としての機能を保持する性能を確保するものとし、</p> <p>旧淀川（安治川）、木津川、尻無川、六軒家川、東横堀川、道頓堀川、住吉川では、表-2.1、図-2.1に示す整備対象区間において、防潮堤等の耐震補強を実施します。（平成30年度までの実施済み箇所は除く。）</p>

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P 35 1.地震・津波対策）

修正方針	対応																																																																																																																								
①三大水門新設に関する対策内容を追記	三大水門の改築について追記。																																																																																																																								
修正前	修正後																																																																																																																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">河川名及び 施工場所</th> <th style="width: 15%;">整備対象区間</th> <th style="width: 20%;">事業内容</th> <th style="width: 10%;">整備 主体</th> <th style="width: 45%;">対象区間整備延長 (片岸延長)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旧淀川 <small>あじがわ</small> 安治川</td> <td>全川</td> <td>防潮堤耐震補強</td> <td>大阪府</td> <td>約 1.7km</td> </tr> <tr> <td>木津川 <small>きづがわ</small></td> <td>全川</td> <td>防潮堤耐震補強</td> <td>〃</td> <td>約 4.6km</td> </tr> <tr> <td>尻無川 <small>しりなしがわ</small></td> <td>尻無川水門</td> <td>水門耐震補強</td> <td>〃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>尻無川 <small>しりなしがわ</small></td> <td>全川</td> <td>防潮堤耐震補強</td> <td>〃</td> <td>約 1.7km</td> </tr> <tr> <td>正蓮寺川 <small>しょうれんじがわ</small></td> <td>正蓮寺川水門</td> <td>水門耐震補強</td> <td>〃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>正蓮寺川 <small>しょうれんじがわ</small></td> <td>正蓮寺川水門から下流</td> <td>防潮堤耐震補強</td> <td>〃</td> <td>約 1.1m</td> </tr> <tr> <td>六軒家川 <small>ろっけんがわ</small></td> <td>全川</td> <td>防潮堤耐震補強</td> <td>〃</td> <td>約 2.7km</td> </tr> <tr> <td>東横堀川 <small>ひがしよこほりがわ</small></td> <td>全川</td> <td>防潮堤・水門耐震補強</td> <td>大阪市</td> <td>約 4.4km</td> </tr> <tr> <td>道頓堀川 <small>どうとんぼりがわ</small></td> <td>道頓堀川水門から湊町 日本橋から上大和橋</td> <td>防潮堤・水門耐震補強</td> <td>〃</td> <td>約 3.4km</td> </tr> <tr> <td>住吉川 <small>すまよしがわ</small></td> <td>全川</td> <td>防潮堤・水門耐震補強</td> <td>〃</td> <td>約 5.0km</td> </tr> <tr> <td>各河川の水門、鉄扉</td> <td></td> <td>電動化、伝送路二重化</td> <td>大阪府</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>三大水門（安治川、木津川、尻無川） <small>あじがわ きづがわ しりなしがわ</small></td> <td></td> <td>副水門・中央堰柱補強</td> <td>〃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>旧淀川（安治川、堂島川）、土佐堀川、尻無川、木津川 <small>あじがわ どうがわ じまがわ とさぼりがわ しりなしがわ きづがわ</small></td> <td>四つ橋より下流側</td> <td>堤防機能高度化</td> <td>大阪府</td> <td>市街地再開発 との調整が図 た区間</td> </tr> </tbody> </table>	河川名及び 施工場所	整備対象区間	事業内容	整備 主体	対象区間整備延長 (片岸延長)	旧淀川 <small>あじがわ</small> 安治川	全川	防潮堤耐震補強	大阪府	約 1.7km	木津川 <small>きづがわ</small>	全川	防潮堤耐震補強	〃	約 4.6km	尻無川 <small>しりなしがわ</small>	尻無川水門	水門耐震補強	〃	—	尻無川 <small>しりなしがわ</small>	全川	防潮堤耐震補強	〃	約 1.7km	正蓮寺川 <small>しょうれんじがわ</small>	正蓮寺川水門	水門耐震補強	〃	—	正蓮寺川 <small>しょうれんじがわ</small>	正蓮寺川水門から下流	防潮堤耐震補強	〃	約 1.1m	六軒家川 <small>ろっけんがわ</small>	全川	防潮堤耐震補強	〃	約 2.7km	東横堀川 <small>ひがしよこほりがわ</small>	全川	防潮堤・水門耐震補強	大阪市	約 4.4km	道頓堀川 <small>どうとんぼりがわ</small>	道頓堀川水門から湊町 日本橋から上大和橋	防潮堤・水門耐震補強	〃	約 3.4km	住吉川 <small>すまよしがわ</small>	全川	防潮堤・水門耐震補強	〃	約 5.0km	各河川の水門、鉄扉		電動化、伝送路二重化	大阪府	—	三大水門（安治川、木津川、尻無川） <small>あじがわ きづがわ しりなしがわ</small>		副水門・中央堰柱補強	〃	—	旧淀川（安治川、堂島川）、土佐堀川、尻無川、木津川 <small>あじがわ どうがわ じまがわ とさぼりがわ しりなしがわ きづがわ</small>	四つ橋より下流側	堤防機能高度化	大阪府	市街地再開発 との調整が図 た区間	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">河川名及び 施工場所</th> <th style="width: 15%;">整備対象区間</th> <th style="width: 20%;">事業内容</th> <th style="width: 10%;">整備 主体</th> <th style="width: 45%;">対象区間整備延長 (片岸延長)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旧淀川 <small>あじがわ</small> 安治川</td> <td>全川</td> <td>防潮堤耐震補強</td> <td>大阪府</td> <td>約 0.1km</td> </tr> <tr> <td>木津川 <small>きづがわ</small></td> <td>全川</td> <td>防潮堤耐震補強</td> <td>〃</td> <td>約 3.4km</td> </tr> <tr> <td>尻無川 <small>しりなしがわ</small></td> <td>全川</td> <td>防潮堤耐震補強</td> <td>〃</td> <td>約 0.1km</td> </tr> <tr> <td>六軒家川 <small>ろっけんがわ</small></td> <td>全川</td> <td>防潮堤耐震補強</td> <td>〃</td> <td>約 2.2km</td> </tr> <tr> <td>東横堀川 <small>ひがしよこほりがわ</small></td> <td>全川</td> <td>防潮堤・水門耐震補強</td> <td>大阪市</td> <td>約 4.4km</td> </tr> <tr> <td>道頓堀川 <small>どうとんぼりがわ</small></td> <td>道頓堀川水門から湊町 日本橋から上大和橋</td> <td>防潮堤・水門耐震補強</td> <td>〃</td> <td>約 2.4km</td> </tr> <tr> <td>住吉川 <small>すまよしがわ</small></td> <td>全川</td> <td>防潮堤・水門耐震補強</td> <td>〃</td> <td>約 3.6km</td> </tr> <tr> <td>三大水門（安治川、木津川、尻無川） <small>あじがわ きづがわ しりなしがわ</small></td> <td></td> <td style="color: red;">改築</td> <td>大阪府</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>旧淀川（安治川、堂島川）、土佐堀川、尻無川、木津川 <small>あじがわ どうがわ じまがわ とさぼりがわ しりなしがわ きづがわ</small></td> <td>四つ橋より下流側</td> <td>堤防機能高度化</td> <td>大阪府</td> <td>市街地再開発等 との調整が図れ た区間</td> </tr> </tbody> </table>	河川名及び 施工場所	整備対象区間	事業内容	整備 主体	対象区間整備延長 (片岸延長)	旧淀川 <small>あじがわ</small> 安治川	全川	防潮堤耐震補強	大阪府	約 0.1km	木津川 <small>きづがわ</small>	全川	防潮堤耐震補強	〃	約 3.4km	尻無川 <small>しりなしがわ</small>	全川	防潮堤耐震補強	〃	約 0.1km	六軒家川 <small>ろっけんがわ</small>	全川	防潮堤耐震補強	〃	約 2.2km	東横堀川 <small>ひがしよこほりがわ</small>	全川	防潮堤・水門耐震補強	大阪市	約 4.4km	道頓堀川 <small>どうとんぼりがわ</small>	道頓堀川水門から湊町 日本橋から上大和橋	防潮堤・水門耐震補強	〃	約 2.4km	住吉川 <small>すまよしがわ</small>	全川	防潮堤・水門耐震補強	〃	約 3.6km	三大水門（安治川、木津川、尻無川） <small>あじがわ きづがわ しりなしがわ</small>		改築	大阪府	—	旧淀川（安治川、堂島川）、土佐堀川、尻無川、木津川 <small>あじがわ どうがわ じまがわ とさぼりがわ しりなしがわ きづがわ</small>	四つ橋より下流側	堤防機能高度化	大阪府	市街地再開発等 との調整が図れ た区間
河川名及び 施工場所	整備対象区間	事業内容	整備 主体	対象区間整備延長 (片岸延長)																																																																																																																					
旧淀川 <small>あじがわ</small> 安治川	全川	防潮堤耐震補強	大阪府	約 1.7km																																																																																																																					
木津川 <small>きづがわ</small>	全川	防潮堤耐震補強	〃	約 4.6km																																																																																																																					
尻無川 <small>しりなしがわ</small>	尻無川水門	水門耐震補強	〃	—																																																																																																																					
尻無川 <small>しりなしがわ</small>	全川	防潮堤耐震補強	〃	約 1.7km																																																																																																																					
正蓮寺川 <small>しょうれんじがわ</small>	正蓮寺川水門	水門耐震補強	〃	—																																																																																																																					
正蓮寺川 <small>しょうれんじがわ</small>	正蓮寺川水門から下流	防潮堤耐震補強	〃	約 1.1m																																																																																																																					
六軒家川 <small>ろっけんがわ</small>	全川	防潮堤耐震補強	〃	約 2.7km																																																																																																																					
東横堀川 <small>ひがしよこほりがわ</small>	全川	防潮堤・水門耐震補強	大阪市	約 4.4km																																																																																																																					
道頓堀川 <small>どうとんぼりがわ</small>	道頓堀川水門から湊町 日本橋から上大和橋	防潮堤・水門耐震補強	〃	約 3.4km																																																																																																																					
住吉川 <small>すまよしがわ</small>	全川	防潮堤・水門耐震補強	〃	約 5.0km																																																																																																																					
各河川の水門、鉄扉		電動化、伝送路二重化	大阪府	—																																																																																																																					
三大水門（安治川、木津川、尻無川） <small>あじがわ きづがわ しりなしがわ</small>		副水門・中央堰柱補強	〃	—																																																																																																																					
旧淀川（安治川、堂島川）、土佐堀川、尻無川、木津川 <small>あじがわ どうがわ じまがわ とさぼりがわ しりなしがわ きづがわ</small>	四つ橋より下流側	堤防機能高度化	大阪府	市街地再開発 との調整が図 た区間																																																																																																																					
河川名及び 施工場所	整備対象区間	事業内容	整備 主体	対象区間整備延長 (片岸延長)																																																																																																																					
旧淀川 <small>あじがわ</small> 安治川	全川	防潮堤耐震補強	大阪府	約 0.1km																																																																																																																					
木津川 <small>きづがわ</small>	全川	防潮堤耐震補強	〃	約 3.4km																																																																																																																					
尻無川 <small>しりなしがわ</small>	全川	防潮堤耐震補強	〃	約 0.1km																																																																																																																					
六軒家川 <small>ろっけんがわ</small>	全川	防潮堤耐震補強	〃	約 2.2km																																																																																																																					
東横堀川 <small>ひがしよこほりがわ</small>	全川	防潮堤・水門耐震補強	大阪市	約 4.4km																																																																																																																					
道頓堀川 <small>どうとんぼりがわ</small>	道頓堀川水門から湊町 日本橋から上大和橋	防潮堤・水門耐震補強	〃	約 2.4km																																																																																																																					
住吉川 <small>すまよしがわ</small>	全川	防潮堤・水門耐震補強	〃	約 3.6km																																																																																																																					
三大水門（安治川、木津川、尻無川） <small>あじがわ きづがわ しりなしがわ</small>		改築	大阪府	—																																																																																																																					
旧淀川（安治川、堂島川）、土佐堀川、尻無川、木津川 <small>あじがわ どうがわ じまがわ とさぼりがわ しりなしがわ きづがわ</small>	四つ橋より下流側	堤防機能高度化	大阪府	市街地再開発等 との調整が図れ た区間																																																																																																																					

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P 36 1.地震・津波対策 ）

修正方針

対応

①三大水門新設に関する対策内容を追記

三大水門の改築を追記。

修正前

修正後

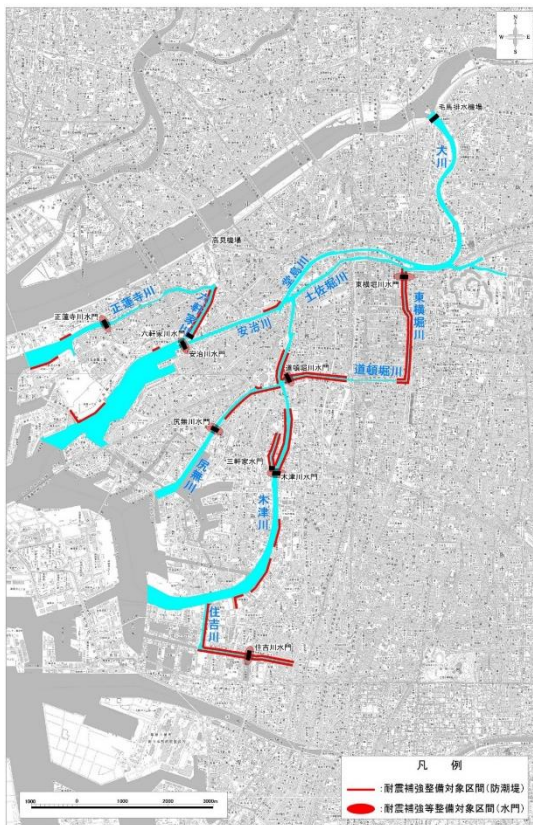


図-2.1 整備計画対象区間

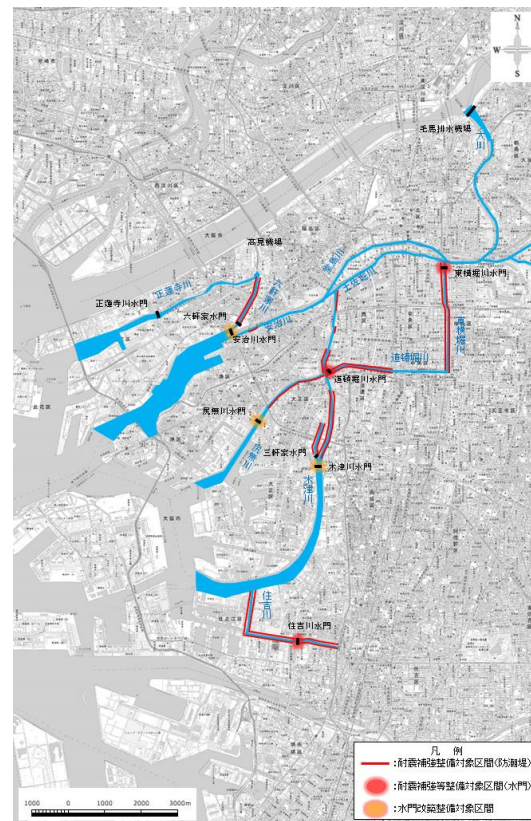


図-2.1 整備計画対象区間

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P 37 2行目 1.地震・津波対策）

修正方針	対応
①三大水門新設に関する対策内容を追記	事業の進捗に合わせて修正。
修正前	修正後
<p>旧淀川（安治川）、木津川、尻無川、正蓮寺川、六軒家川、東横堀川、道頓堀川、住吉川では、表-2.2、図-2.1に示す整備対象区間において南海トラフ地震等の地震津波対策として防潮堤の耐震補強を行います。また、津波警報及び大津波警報発表時に大水門を閉鎖することに伴い、水門下流域への反射波の影響を検討した結果、反射波の影響に応じて必要な対策を実施します。</p> <p><南海トラフ地震等の地震津波対策における対策の重点化および優先順位の方針></p> <p>①津波を最前線で直接防御する「第一線防潮ライン（水門より下流側）」の防潮堤の液状化対策を優先して対策を実施します。中でも、地震後、液状化により防潮堤に変形、沈下等が生じ、満潮時に地震直後から浸水が始まる可能性のある区域については、避難が困難となることから、最優先で対策を実施します。</p> <p>②「水門より上流側」にある防潮堤についても、第一線防潮ラインの液状化対策に引き続き、順次、対策を実施します。ただし、水門の上流側であっても、満潮時に地震直後から浸水が始まる可能性のある区域については、第一線防潮ラインの対策箇所と同様、早期の完成を目指し、優先して対策を実施します。</p>	<p>旧淀川（安治川）、木津川、尻無川、六軒家川、東横堀川、道頓堀川、住吉川では、表-2.1、図-2.1に示す整備対象区間において南海トラフ地震等の地震津波対策として防潮堤の耐震補強を行っています。</p> <p>これまで、地震後、液状化により防潮堤に変形、沈下等が生じ、「満潮時に地震直後から浸水が始まる可能性のある区間」及び、「第一線防潮ライン（水門より下流側）であって、L1津波で浸水が発生する可能性がある区間」を優先して、対策を実施してきました。</p> <p>今後、水門より上流側であって、L1津波で浸水が発生する可能性がある区間について、引き続き対策を実施します。</p> <p>また、津波警報及び大津波警報発表時に大水門を閉鎖することに伴い、水門下流域への反射波の影響を検討した結果、反射波の影響に応じて必要な対策を実施します。</p>

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P37 （1）防潮堤の地震・津波対策 ）

修正方針

対応

①三大水門新設に関する対策内容を追記

事業の進捗に合わせて修正。

修正前

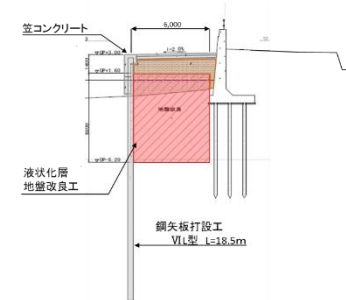
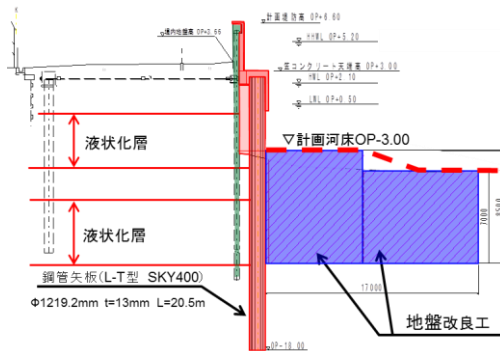
修正後

表-2.2 計画対象区間と整備内容

整備対象区間	整備内容
第一線防潮ライン (水門より下流側)	「満潮時に地震直後から浸水が始まる区 域」または「L1 津波で浸水する区間」 防潮堤耐震補強
水門より上流側	

表-2.2 計画対象区間と整備内容

整備対象区間	整備内容
水門より上流側	L1 津波で浸水する区間 防潮堤耐震補強



今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P37 12行目 （1）防潮堤の地震・津波対策 ）

修正方針	対応
②地震・津波対策としての計画内容を変更	事業の進捗に合わせて修正。
修正前	修正後
<p>また、木津川の木津川水門下流右岸などの港湾法・港則法適用区域では、防潮堤の管理を大阪市港湾局が行っている区域があるため、対策実施にあたっては大阪市港湾局と連携しながら進めていきます。</p> <p>さらに、東横堀川・道頓堀川における津波による浸水が想定されていない区域でも、地震により防潮堤が大きく変位し、堤内側等への影響が大きくなる場合には耐震対策を実施するものとします。</p>	<p>なお、木津川の木津川水門下流右岸などの港湾法・港則法適用区域では、防潮堤の管理を大阪市港湾局が行っている区域があるため、対策実施にあたっては大阪市港湾局と連携しながら進めていきます。</p> <p>さらに、住吉川・東横堀川における津波による浸水が想定されていない区域でも、地震により防潮堤が大きく変位し、堤内側等への影響が大きくなる場合には耐震対策を実施するものとします。</p>

変更原案（P38 4行目 （2）水門・排水機場等の地震・津波対策 ）

修正方針	対応
②地震・津波対策としての計画内容を変更	事業の進捗に合わせて修正。
修正前	修正後
各水門の耐震補強を行います。	各水門の耐震補強を行いました。

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P38 9行目 （2）水門・排水機場等の地震・津波対策 ）

修正方針	対応
①三大水門新設に関する対策内容を変更	三大水門の改築について追記。
修正前	修正後
維持できないことが判明しています。しかし、この津波に対する三大水門の補強には多大な費用と時間を要することから、新たな津波防御施設の建設も含めた検討を進めることとします。一方、三大水門が損傷した場合等でも二次被害を防ぐ必要があり、当面の対策として、降雨時に必要な機能として、洪水を流下させるために副水門の開閉機能を確保する必要があることから、安治川水門、木津川水門、尻無川水門において副水門や中央堰柱の補強を行います。	維持できないことが判明したため、当面の対策として、降雨時に必要な機能として、洪水を流下させるために副水門の開閉機能を確保する必要があることから、安治川水門、木津川水門、尻無川水門において副水門や中央堰柱の補強を行いました。抜本的な対策として、現水門付近に高潮だけでなく、津波にも対応できる水門を新たに建設することとします。

変更原案（P38 15行目 2. 三大水門の改築）

修正方針	対応
②地震・津波対策としての計画内容を変更	事業の進捗に合わせて修正。
修正前	修正後
	<p>2. 三大水門の改築</p> <p>老朽化が進んでいる三大水門（安治川水門・尻無川水門・木津川水門）は、高潮への対策に加え、南海トラフ巨大地震による津波にも対応できる水門として改築を行うこととし、現在の水門付近に新たな水門を建設します。</p>

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P39 （1）西大阪ブロックの水都事業 ）

修正方針	対応
③最新データを用いた時点修正。	事業の進捗に合わせて修正。
修正前	修正後
<p>This map shows the project area in West Osaka with various nodes and corridors. Key nodes include 'USJ' (with a population of approximately 1,000,000), 'Tenryū-ji' (240,000), 'Ōsaka-jō' (290,000), and 'Ōsaka City' (290,000). Corridors are color-coded: green for the western part, blue for the central part, and red for the eastern part. Arrows indicate connections between nodes and corridors.</p>	<p>This map shows the same project area but with updated data and a different layout. It highlights 'ベイエリア' (Bay Area) and '中之島' (Nakanoshima). A central text box reads '拠点をつなぐ 回廊を運る' (Connect nodes, transport corridors). Key nodes include 'USJ', '中之島', '八軒町', and '大阪城'. The map uses a color scheme of blue, orange, and green to represent different zones and corridors.</p>

図-2.3水都事業拠点図（水と光のまちづくり推進会議）

図-2.3水都事業拠点図（水と光のまちづくり推進会議）

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P40～41 行目 （3）三大水門の改築 ）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状に合わせて文章を追記。
修正前	修正後
	<p>三大水門の改築にあたっては、水門の周辺状況を考慮した良好な河川景観形成を図ります。また、さらなる発展が見込まれるベイエリアと大阪の中心市街地を結ぶ舟運の中間に位置することから水都大阪の水辺空間などまちの賑わいのある河川景観の形成にも配慮します。</p> <p>特に、安治川筋は、水都大阪の中心である中之島エリアと2025年に開催が決定した大阪・関西万博の会場である夢洲を含むベイエリアとを結ぶ主要な舟運ルートとなり、今後、周辺部でさらなる舟運の活性化が予想されています。</p>

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P 41 （3）自然環境 ）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状に合わせて文章を追記。
修正前	修正後
大川の「大阪ふれあいの水辺」においては、水生生物の定着を図り、これまでと同様に環境学習の場として継続して活用できるよう、環境保全に一層努めるとともに、動植物の育成・保全が図られるよう自然環境の保全、再生について、ワークショップなどで地域の声を聞きながら、関係機関と連携し、さらに検討を進めます。	文章を削除。

変更原案（P 43 23 行目 3.河川空間の管理 ）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状に合わせて文章を追記。
修正前	修正後
注意を喚起する表示板やブイの設置などに努めるとともに、プレジャーボートなどに対しては、航行ルールの啓発に努めます。	注意を喚起する表示板やブイの設置などに努めるとともに、 水面利用者に対し 航行ルールの啓発に努めます。

今回の変更箇所（新旧対照表）

変更原案（P46 5行目 2.河川情報の提供）

修正方針	対応
③文章を現状に合わせて修正。	現状に合わせて文章を追記。
修正前	修正後
船舶等水面利用者への航行安全の支援とともに、河川利用等の促進を図るために設置した河川情報表示盤により、河川水位等の河川情報、河川環境の紹介や治水・災害関連施設の紹介などの河川関連情報を日常的に提供します。	2025年大阪・関西万博の開催決定などを背景に、今後も活性化が見込まれる舟運を見据え、水面利用者等と連携し、位置情報システム等、航行の安全を支援する情報発信について検討を行います。 また、河川敷地の占用に関する規制緩和の都市・地域再生等利用区域指定を受け占有者が賑わい施設を運営する区域では、占有者の防災意識向上を図るなど、利用者の安全確保に努めます。